

市民景観まちづくりリーフレット②

景観を楽しもう！ まち歩きのおすすめ

地域の景観を改めて見つめ直してみる。このことが、地域に根ざした景観まちづくりの第一歩です。また、特別に「景観まちづくり」ということを意識しなくても、そもそも景観まち歩きそのものが、新しい発見に満ちたとても刺激的で楽しいものなのです。

住んでいるまちの景観を楽しんでみることで、景観を楽しもうと思いつきながらまちに出てみる。まずは気軽にそこから始めてみませんか？

わがまち
再発見！

ポイントその1

まちを歩こう

景観を楽しむ最初のポイントは、何はともあれ、まずはまちを歩こうということ。それがなければ始まりませんからね。

ふだん何気なく暮らしている身近なまちにもいろいろな景観があるはず。景観を意識してまちを歩くことから始めてみましょう。きっと興味深い景観を発見することができますよ。

最近では、まち歩きで見つけたさまざまな景観を写真に撮って、ホームページやブログで紹介している人も増えてきました。こういうことも景観まちづくりへとつながる第一歩と言えるでしょう。

さあ、さっそく表に出て、景観を見つけにまちを歩いてみませんか。見慣れたまちが一味違って見えますよ。

◎カメラを持って行くことをおすすめします！

景観の写真を撮らないといけなわけではありませんが、写真を撮ろうという心づもりがあると、まちを見る目も敏感になるものです。見つけた景観を写真に残しておくことで、季節による景観の違いなども一目瞭然ですし、次のまち歩きが楽しみになりますよ。性能のいいカメラが搭載されている携帯電話も増えていきますので、そういうものでもいいですね。

ただし、くれぐれも撮影マナーには気をつけて！



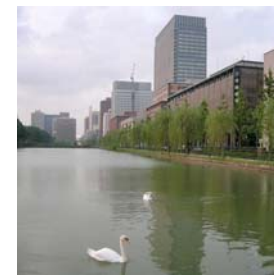
土手の桜も満開に



夏祭りの宵



郷愁を呼ぶ水郷の眺め



水辺の風格ある街並み



鳥居から延びる参道



まちかどのポケットパーク



芝生広場のアート



黄金色に輝く銀杏並木



菜の花畑の散歩道



伸びやかに広がる水面と空



風情ある石畳と町家



歴史的な街並みを撮影中



人々が憩う木陰の広場



東京タワーの夜景

ポイントその2

季節を感じよう

四季のある国・日本。その豊かな四季の景観を楽しみたい手はありません。アスファルトとコンクリートに囲まれた都会でも、季節はちゃんと感じられます。

さまざまな年中行事や各地の名園などを例に引くまでもなく、日本人は四季と景観を結びつける感覚に長けています。季節を感じられるような要素に注目して景観を捉えてみるのはいかがでしょう。



リンゴ並木に赤い実が



広場のクリスマスツリー



ランドマークとなる建築



修景された歴史的な建物



花の東京・銀座の交差点



九谷焼の絵皿の入った石碑



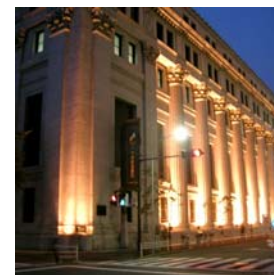
古びた市場の店先



参道の賑わい



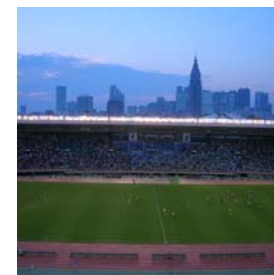
たわわに実った一面の稲穂



格調を感じるライトアップ



最先端の建築をスナップ



高層ビル街のスカイライン



並木のイルミネーション



軒先を飾るほおずき

ポイントその3

多様さを味わおう

旅先では誰もがその土地の景観を楽しみます。そのまちや地域の魅力や個性が景観に現れているからです。場所が違えば景観も違います。多様な景観の持ち味を味わうことが景観を楽しむ醍醐味のひとつです。

また、緑や水、地形、建物や構造物、歴史性、夜景、ディスプレイや装飾など景観の対象や、壮大なパノラマ、求心性のあるパースペクティブ、クローズアップなど景観の見方にも多様さがあります。

ここにある写真は、街で見つけられる多様な景観のほんの一部。都会の景観、田園の風景。最新デザインの建築もあれば、時間の重みが伝わる景観もある。遠くまでの見晴らしは爽快だし、軒先の飾りつけも楽しい。人のにぎわいや水のある景観、夜景なども魅力に溢れています。



まちなかの華やいだ彩り



手入れされた歩道の花壇



ビルの谷間に新しい森が